

よみうり健康ブック  
*La Santé*  
ら・さんて

\*ら・さんてはフランス語で「健康」の意

2009  
January  
vol.04

読売新聞「医療ルネサンス」と連動企画



ら・さんて Human Story  
第4回 山口美江さん

特集

お口の悩みにも  
お答えします。

綴じ込み付録

ブラッシング  
レッスン



読売新聞



漢方の見方 ④ 慶応義塾大学医学部漢方医学センター ● 渡辺賢治

# 全身に栄養を運べなくなる「血虚」



芍薬膠艾湯や四物湯に使われている芍薬は、中国やシベリアが原産地。高さ60㎝～1mにもおよぶ立ち姿は堂々とした気品にあふれています。

体が弱い人の「血」を整える

## 芍薬膠艾湯

対象となる症状

痔出血、不正性器出血、膀胱出血、腎出血、腸出血、血尿、出血に伴うめまい、貧血

組成

地黄、芍薬、当帰、甘草、川芎、阿膠、艾葉



生薬に用いるのは根の部分。鎮痛や駆瘀血作用があります。

今

回と次回のテーマは「血」。「血」は前回までの「気」に比べると分かりやすい。

食用に動物を屠殺すれば血が出る。また負傷すれば自分の体から血が出る。大量に出血すると栄養が不足する。すると「血」の働きとしては「体を巡って」いて「栄養を運ぶ」働きのあることは古代の人でも理解が容易であったと思われる。「栄養を運ぶ」機能が損なわれたのが「血虚」である。

全身的に栄養不足になるので、貧血、集中力低下、爪がもろい、皮膚のかさつき、病的な白髪・脱毛といった症状が出る。こうした症状に用いられる処方としては、芍薬膠艾湯、十全大補湯、加味帰脾湯などがあるが、これらは当帰・芍薬・地黄・川芎からなる四物湯が基本となつて構成されている。

わたなべ・けんじ 慶応義塾大学医学部漢方医学センター、センター長。日本東洋医学会理事、指導医、専門医。